

マイクロゾームテスト・サイロイドテスト 検査中止のお知らせ

22-038 (2022 Aug.)

サポートライン
2147

このたび、測定試薬の販売中止により、掲題の検査項目の検査を中止させていただきます。

診療科のみなさまにはご迷惑をおかけしますが、ご賢察のほどよろしくお願いいたします。

2022年 10月 1日以降 検査中止

- 検査中止項目 : マイクロゾームテスト (抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体[PA])
サイロイドテスト (抗サイログロブリン抗体[PA])
- 中止の理由 : 測定試薬の販売中止のため

検査中止項目	代替項目
マイクロゾームテスト (抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体[PA])	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体[ECLIA] 抗TPO抗体
サイロイドテスト (抗サイログロブリン抗体[PA])	抗サイログロブリン抗体[ECLIA] 抗Tg抗体

● 検査法の違い

自己免疫性甲状腺疾患である橋本病（慢性甲状腺炎）やバセドウ病において、抗甲状腺ペルオキシダーゼ（TPO）抗体・抗サイログロブリン（Tg）抗体が高率に検出されます。

従来から間接凝集反応（PA法）にて半定量的な測定法としてマイクロゾームテスト・サイロイドテストがありましたが、**最近ではTPOあるいはTgを抗原として、血中の抗TPO抗体・抗Tg抗体を直接定量的に測定する検査**が使用されています。検査法としては最も高感度なECLIAが広く用いられ、抗TPO抗体・抗Tg抗体ともに、中止項目と比較して感度・特異度に優れた検査法です。

表. 抗体陽性でもって橋本病と診断した場合の感度・特異度・正診率

検査項目	検査法	感度 (%)	特異性 (%)	正診率 (%)	
マイクロゾームテスト	PA	62.7	97.0	73.1	※検査中止
サイロイドテスト		44.0	97.0	60.2	
抗TPO抗体	EIA	74.7	93.9	96.3	
抗Tg抗体		97.3	93.9	80.3	

笠木寛治ほか. ホルモンと臨床. 1995, 43(1), p.67-73.

検査部サポートライン (PHS : 2147)

検査部 : 増田 (PHS : 2144) ・ 石田 (PHS : 6386) ・ 西山 (PHS : 2141)

